

Weekly Report



2002-1-23 第543回例会 NO.12-27 2002.1.30 発行

◎司会

S A A 委員会

田島真由美

◎点鐘

会 長

足立潤三郎

◎ロータリーソング「四つのテスト」

ソングリーダー

菊池 敏

◎お客様紹介

会 長

足立潤三郎

お客様

・岡山西南RC

椎原 裕二様

・東京東村山RC

野村 高章様

・相模原グリーンRC

守屋 護様

・相模原グリーンRC

高橋 正之様

◎会務報告

会 長

足立潤三郎

- ・1月16日多摩中央署の武道始めに当クラブを代表して参加をしてきました。
- ・1月18日第4回目の会長・幹事会に出席してきました。2月13日IM(府中RCホスト)です。成功の是と非は各クラブの動員数で決まります。できるだけ多くの皆さんに参加をして頂きたいと思います。当クラブからもパネラーとして赤尾会員が参加をされます。討議の内容は「今後のロータリーのあり方について」と云う事で
- イ) 国際ロータリー2001年度規定審議会について
- ロ) 東京都南(高輪)ロータリークラブ試験的プログラム決定事項
- ・1月19日国際ソロプチミスト稲城・多摩合同新年会に会長・幹事が招待をされましたので、祝事の挨拶をしてきました。
- ・2003~2004年度ロータリー財団国際親善奨学生(アカデミック・イヤー(1年奨学))に1名が当クラブに応募してきました。第1次選考は本年度各クラブが実施。面接は原則として、会長・幹事・副会長・財団委員長で2月中旬におこないます。

《奨学金の種類と期間》

イ・アカデミック・イヤー(1年奨学)

ロ・マルチ・イヤー(2年奨学)

◎幹事報告

幹 事

加藤喜三郎

- ・全国会員名簿のCOPYを回覧しますので、ご自分のところをチェックして頂き、誤りがありましたら添付の赤ボールペンで訂正願います。なければ名前に○印をつけてください。
- ・東京マリーンRCより例会変更がきています。
- ・2001年度英語版手続要覧が発行されました。1部5ドルです。注文される方は事務局まで。
- ・2/13のIMのパンフレットをメールボックスにいらてあります。例会振替ですから100%出席をお願いします。
- ・2001年にご寄付頂きました米山寄付金の免税申告用領収証と証明書の写しを事務局がお渡ししますので確定申告の際はその2枚を揃えてご提出ください。
- ・福祉協議会からの「福祉だより」とローターアクトの地区広報誌年次大会記念号を回覧します。
- ◎次年度会務報告 会長エレクト 小坂 一郎
次年度クラブ組織一覧表についてお手元に配布してありますのでご覧になって下さい。

【委員会報告】

◎出席報告

出席委員長

伊澤ケイ子

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名(出席免除者2名)
- ・出席者数 33名
- ・欠席者数 9名(事前MU3名)
- ・出席率 85.71%(36/42)
- ・欠席者: 大松 誠二・小泉 武男・小城 章員・宮本 誠・中山 恒武・佐伯 和廣・高村 弘・田中 實・阿部 華歌
- ・補填MU: 田島真由美 1/18 東京町田RC
大松 誠二 1/22 東京多摩RC
小泉 武男 1/22 東京多摩RC
田中 實 1/22 東京多摩RC

1/10 最終訂正出席率 82.93%

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagro@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会 長】足立潤三郎 【幹 事】加藤喜三郎 【委員長】根本泰守 【副委員長】藤原正範

【委 員】田島真由美・佐伯和廣・高木淳光・宮本誠・小泉武男

◎ニコニコBOX 親睦活動委員 藤原 正範

高橋 正之 お世話になります。
 守屋 護 本日はお世話になります。よろしくお願いします。
 足立潤三郎 お客様ようこそいらっしゃいました。
 足立潤三郎 藤原会員卓話宜しくをお願いします。
 加藤喜三郎 藤原さん卓話よろしく。
 杉野志保子 小林総支配人。先日はありがとうございました。たすかりました。
 村上 久 小泉博さん、1月17日おたがいに落札出きず残念です。
 田島真由美 会報委員会の皆様、先日はありがとうございました。楽しませていただきました。
 小泉 博 足立さん、関岡さん、お世話になりました。感謝の意を表してニコニコです。
 澄川 昇 1/16~1/20 4日間ゴルフを楽しんで参りました。極楽・極楽
 北村 幸彦 皆さんおひさしぶりです。藤原会員の卓話たのしみです。
 高木 淳光 藤原さん、卓話頑張ってください。
 津守 弘範 藤原さんの卓話たのしみにしております。
 海野 栄一 藤原会員の卓話楽しみです。
 杉山 英巳 藤原さん、卓話を期待しています。
 藤原 正範 卓話我慢して聞いてください。
 申し訳ありませんのきもちで。

本日の合計 ¥ 21,100 (累計 ¥ 581,891)

◎親睦活動委員会 委員 平野 行廣

本日例会終了後2階ラウンジで親睦旅行の打ち合わせを行いますので関係者の方はお集まり下さい

◎R財団委員会 委員長 関岡 俊二

R財団寄付金の協力のお願いとご存知の通り、円安が最近の流れです。早めのご協力をお願いいたします。

◎ゴルフ同好会 藤本 吉文

年会費の徴収いたします。

◎卓話

日本産業界におけるヒューマン・アセスメントの実態 藤原 正範

上場企業を中心に導入を進めている客観的な人事評価システムについてどのような背景で生まれ注目されているかなぜ必要かお話しします。

企業経営コンサルタントという職業には幅があります。人事コンサルタントという企業の人事制度に係わる仕事を請け負い、ヒューマンアセスメントのシステムの導入運営が大きな仕事となっております。その起源「環境アセス、事前評価」重要なポストに対象が複数いて誰を選ぶか事前に審査、調査し、具体的には管理職の昇進・昇格に伴う新しい評価システムの事です。企業には当然人事考課制度があるが重要なポストを決めようとする時や対

象者を絞る場合、多くの客観的データが必要になります。係長から課長に昇格出来る人が200人いるとする。しかしその対象者は1000人。大きな企業になればなるほど人事考課はブレてくる。従来の人事考課では不公平感が強い企業も評価基準の統一化を常に行うが、肝心の評価者(特に第一次評価の課長クラス)にブレが多い。営業の売上数字の様に計れる物なら評価もし易いが、計れない物の方が多い。当然自分の部下には評価が甘くなりがち。自分の部下から昇格者がたくさんであれば自分の評価があがる。絶対評価と相対評価、営業売上数字の間違い、マーケットの恵まれたところの1億と恵まれないところの1億では価値が違う。中には部下の評価を好き嫌いで判断したり派閥人事や同族系列により能力のある人を殺している人事も多い。



今では上場企業を中心に約200社が人材アセスメントを導入。自前(ソニーや日立)で行っているところが約1割程度でその他は私たちのような外部のコンサルタント会社に依頼。内部で行えばそこには若干の不公平感が生まれるが利害関係のない第三者は客観的な判断が出来る。近い将来管理職クラスに昇進・昇格の可能性をもった中堅からベテランの研修管理者に求められる能力の3本柱は目標達成能力・問題解決能力・リーダーシップです。試験はペーパーテストだけではなくグループで行うディスカッション。会社経営者になってもらって会社経営のビジネスゲームもやります。まだなっていない上司になった時、目の前にある問題に対してどのような行動をとるか判断を行うかどのような成果をあげるか実際に取り組んでもらいます。問題作成にもすごく時間が掛かります。能力とは潜在化されたものであるという考え方に立ち、行動観察してデーターをとり複数のデーターの突き合わせで評価します。NTTの追跡調査では出世頭と言われるような極めて有能な人達の98%以上が過去にアセスメントを受けて非常に優秀な成績を残しているそうです。

※卓話も良かったですけど国会議員秘書としての現在話題になっている公共工事リポート・その他数々の裏話・暴露物に興味があるわけではありませんが是非一度ゆっくり伺いたいと思います。

《今週の担当:根本 泰守》